

平成21事業年度に係る業務の実績に関する報告書

【概要版】

平成22年6月

公立大学法人岩手県立大学

1 大学の概要

(1) 法人名 公立大学法人岩手県立大学

(2) 所在地 岩手県岩手郡滝沢村

(3) 役員の状況

理事長	相澤	徹
副理事長	中村	慶久(学長)
理事	佐々木	民夫(副学長/学務担当)
理事	幸丸	政明(副学長/教務担当)
理事	伊藤	憲三(副学長/学術研究担当)
理事	菊池	寛(事務局長)
監事(非常勤)	金子	英輝(金子英輝税理士事務所)
監事(非常勤)	熊谷	隆司(熊谷法律事務所)

(4) 学部等の構成

ア 岩手県立大学 学部 看護学部
社会福祉学部
ソフトウェア情報学部
総合政策学部
大学院 看護学研究科(博士前期・後期課程)
社会福祉学研究科(博士前期・後期課程)
ソフトウェア情報学研究科(博士前期・後期課程)
総合政策研究科(博士前期・後期課程)

イ 岩手県立大学盛岡短期大学部

ウ 岩手県立大学宮古短期大学部

(5) 学生数及び教職員数(平成21年5月1日時点)

ア 学生数

(ア) 岩手県立大学

学部	看護学部	383名
	社会福祉学部	415名
	ソフトウェア情報学部	720名
	総合政策学部	451名
	(学部計)	1,969名

大学院	看護学研究科/博士前期課程	21名
	博士後期課程	16名
	社会福祉学研究科/博士前期課程	28名
	/博士後期課程	12名
	ソフトウェア情報学研究科/博士前期課程	71名
	博士後期課程	20名
	総合政策研究科/博士前期課程	11名
	博士後期課程	8名

(大学院計) 187名

合計 2,156名

(イ) 岩手県立大学盛岡短期大学部

215名

(ウ) 岩手県立大学宮古短期大学部

214名

総計 2,585名

イ 教員数

(ア) 岩手県立大学

学長	1名
看護学部・研究科	52名
社会福祉学部・研究科	41名
ソフトウェア情報学部・研究科	57名
総合政策学部・研究科	37名
共通教育センター	15名
その他	6名
合計	209名

(イ) 岩手県立大学盛岡短期大学部

26名

(ウ) 岩手県立大学宮古短期大学部

17名

総計 252名

ウ 事務局職員数

職員	52名(うち宮古短期大学部 8名)
任期付職員	40名(〃 2名)
非常勤職員	6名(〃 1名)
計	98名(〃 10名)

(6) 大学の特徴等

ア 沿革

岩手県立大学は、「共に支え、共に生きる、人間性豊かな社会」の形成に寄与するため、深い教養を身につけ、高度な専門知識を修得した自律的な人間の育成を目指し、看護学部、社会福祉学部、ソフトウェア情報学部及び総合政策学部の4学部による岩手県立大学に、県立短期大学として歴史と伝統を有する盛岡短期大学と宮古短期大学を再編・併設のうえ、平成10年4月に開学しました。

平成11年12月には大学院設置認可を得て、順次大学院を整備し、平成16年度に現在の4学部4研究科、2短期大学部の体制が完成しているところです。

この間、平成14年3月からは新設大学(4大)としての卒業生を社会に送り出しながら、大学改革を推進するため、平成15年11月にアクションプランを策定しましたが、その着実な推進のため、平成17年度に公立大学法人化したところです。本事業年度は法人化一期6年間の5年度目として、中期目標の達成状況に関する暫定的な評価を実施し、次期中期目標・中期計画に向けた大学運営の方向性を検討するとともに、中期目標の達成に向けて着実に取組みを推進しました。

イ 建学の理念と中期目標・中期計画

岩手県立大学は、「自然、科学、人間が調和した新しい時代の創造を願い、人間性豊かな社会の形成に寄与する、深い知性と豊かな感性を備え、高度な専門性を身につけた自律的な人間を育成する大学を目指す」との建学の理念の下、①豊かな教養の修得と人間尊重の精神の涵養、②学際的領域を重視した特色ある教育・研究、③実学・実践重視の教育・研究、④地域社会への貢献、⑤国際社会への貢献の5つの基本的方向により、開学以来の大学づくりを進めています。

中期目標では、大学を取り巻く様々な環境の急速な変化に対応し、公立大学法人への移行を機に大学運営の自律性をさらに確立し、教育・研究の一層の質的向上を図るため、この基本的方向を発展させながら、①「実学実践」の教育・研究を通して地域に貢献する大学、②志に火をつける「実学実践」の教育による人間的成長を培う大学、③「実学実践」を中核とした「人間教育」・「実証研究」・「地域貢献」の一体的な進展を目指していくことが提示され、本学は、この目標を達成するための中期計画を策定し、各般にわたる活動に取り組んでいます。

2 全体的な状況とその自己評価

本項では、平成 21 年度計画にあらかじめ提示した全体計画について「(1) 平成 21 年度計画において全体計画として定めた事項」としてその取組み状況を自己点検・評価したうえで、「(2) 全体評価に規定する事項」として公立大学法人岩手県立大学に係る各事業年度業務実績評価実施要領に定められた全体評価の項目に係る実施状況を記述しています。なお、詳細計画については別添のとおりですが、「(3) 全体的な計画の進行状況」として年度計画項目に係る実施状況を概括しています。

(1) 平成 21 年度において全体計画として定めた事項

平成 21 年度は、法人化一期 6 年間の 5 年度目として、中期目標の達成状況に関する暫定的な評価を実施し、次期中期目標・中期計画に向けた大学運営の方向性を検討するとともに、中期目標の達成に向け、①「教育力の一層の向上」、②「地域の課題に合わせた研究活動」、③「県内高等学校との強固な関係の構築」、④「不況期にあっても高い就職率の維持」、⑤「教育研究活動推進力の抜本的な強化」に重点を置いて取り組みました。

① 教育力の一層の向上に取り組みます

入学から卒業まで一貫した教育システムの構築、幅広い知性を培う教育のレベルアップ、高度な専門性を養う教育のレベルアップ、単位の実質化と授業改善による教育効果の向上により、教育力の一層の向上に取り組みました。

【入学から卒業まで一貫した教育システムの構築】

- 平成 24 年度以降の入試制度について、学長を委員長とする全学的な検討会議「入学者選抜試験検討会議」で審議し骨格を取りまとめ
- 看護学研究科において、「がん看護専門看護師教育課程」が認可（3 つの専門看護師教育課程を認定することが可能）
- 総合政策学部において、平成 22 年度から他学部専門教育科目を卒業単位として認定

【幅広い知性を培う教育のレベルアップ】

- 導入教育として実施している「入門演習」について、各学部の特色に即した多様な授業運営形態が確立していることを確認（少人数グループ編成等）
- 各学部で開講する「専門基礎科目」に「人間性を培う教育」に関連する科目が取り入れられていることを、シラバス等から確認
- 全学共通科目の「人間と職業」（選択科目）の主要部分をキャリアプランニングセミナーとして位置づけ
- 大連交通大学から 5 名、又松大学から 1 名の特別聴講学生の受入れ
- 短期語学研修には、韓国語・韓国文化コース 3 名、中国語・中国文化コース 3 名、盛岡短期大学部の海外研修プログラムにはアメリカコース 19 名、韓国コース 8 名の参加
- 英語の非常勤講師を対象にアンケート調査を実施し「岩手県立大学の英語教育改善に関する調査報告書」としてとりまとめ
- 看護学部において、米国ノースカロライナ大学の教員との共同研究の成果を国際学会で発表。遠隔講義で学生の研究報告等を実施。英国プリマス大学の教員 2 名を招聘

し、英国の助産学教育の実情を報告

- ソフトウェア情報学部において、米国イースタンワシントン大学（EWU）との研究国際交流を行うため教員・学生を派遣
- 総合政策学部において、キャリア教育関連科目である「地場産業・企業研究」を自由科目から選択科目に移行

【高度な専門性を養う教育のレベルアップ】

- 看護学研究科において、北東北がんプロフェッショナル養成プロジェクトを通じて、若手研究者養成に関する大学間の意見交換
- 社会福祉学部における山口県立大学社会福祉学部との教員、学生の交流
- 社会福祉学部における西和賀地域での介護福祉士、社会福祉士の実習、コミュニティ大学ワークショップなど各種事業を通じた地域、NPO、福祉関係者等との交流

【単位の実質化と授業改善による教育効果の向上】

- 授業評価結果を反映させた教員間相互授業聴講、事後アンケート実施
- 新任教員研修会、全学FD研修会の実施
- 学部FD経費の新設による学部ごとのFD活動の活発化
- 「授業支援システム」及び「学生カルテシステム」の導入・運用決定
- 卒業年次生を対象に在学中の満足度を中心としたアンケート調査を実施、学内公開
- いわて高等教育コンソーシアムでのFD・SD合同研修への参加
- 社会福祉学部において、履修登録単位数の上限の設定などにより単位履修に係る学生の学修時間を確保

② 地域の課題に合わせた研究活動に取り組みます

課題を的確に把握する仕組みの構築、課題解決を具体的に推進する取組みの強化、提言・政策提案を行う体制の構築、研究成果の積極的な公表により、地域の課題に合わせた研究活動に取り組みました。

【課題を的確に把握する仕組みの構築】

- 岩手県幹部と大学幹部の意見交換会の開催
- 地域連携協定を締結している自治体等との定期的な連絡会議等の開催
- 社会福祉学部における、西和賀町、釜石市、盛岡市と共同で介護実態を把握するプロジェクトの立ち上げ、岩泉町、岩手県社会福祉協議会、盛岡市福祉事務所等との多様な共同研究の実施

【課題解決を具体的に推進する取組みの強化】

- 学術研究費の地域課題に対応した研究の新規採択（①地域課題研究 1 件、②地域貢献調査活動研究 10 件、③連携研究 4 件、④先端・独創的研究 2 件、⑤海外等調査研究 1 件、計 18 件）
- リサーチアシスタント制度の対象事業を拡大（社会福祉学部に 1 名配置）
- 滝沢村が「滝沢村 IPU イノベーションセンター」を開設（平成 21 年 5 月、これまで 6 企業が 8 室に入居済み）
- 県大と岩手県、産業界で提案した地域産学官共同研究拠点事業が JST に採択

【提言・政策提案を行う体制の構築】

- IPU 地域づくりプラザのホームページ開設
- IPU 地域づくりプラザなどを通じて自治体、地域社会との交流の実施（慶応大学

生と岩手県立大学生による「釜石フィールドワーク」など)

- ・ 盛岡市まちづくり研究所の成果報告会の開催
- ・ 2009 地域づくり・地域貢献活動セミナー&発表会の開催
- ・ 地域づくり大学金ヶ崎校の成果発表 (公共政策研究所)

【研究成果の積極的な公表】

- ・ 岩手県立大学研究成果発表会の開催
- ・ 内閣府主催の「第 8 回産学官連携推進会議」において研究成果を発表
- ・ 研究成果集のホームページを公開
- ・ 県立大学生による学生活動発表会「アイーナにコイーナ」の開催

③ 県内高等学校との強固な関係を築きます

中高生の学問への興味・関心を高める活動、県内高等学校との対話の促進、本学の教育に適合する学生の受入れ、高大連携事業の強化により、県内高等学校との強固な関係の構築に取り組みました。

【中高生の学問への興味・関心を高める活動】

- ・ 大学広報誌 I P U において、教員が学問の魅力等を分かりやすく解説する特集を企画、県内高校等へ配布
- ・ 高校側からのアンケートを踏まえ出前講義のメニュー化、ニーズにマッチした講義の開講

【県内高等学校との対話の促進】

- ・ 高大連携を担当する特命課長を 2 名配置し、県内高校を訪問
- ・ 平成 20 年度における学生の学修状況の分析結果を岩手県高等学校長協会との懇談会で資料提供
- ・ 出前講義 (県内外 35 校に延べ 56 名の教員を派遣) 等において意見聴取
- ・ 高大連携推進委員会の体制強化 (所掌事務の拡大)

【本学の教育に適合する学生の受入れ】

- ・ 出前講義、オープンキャンパス、ホームページなどを通じ本学のアドミッションポリシー等を積極的に情報発信
- ・ 保護者等への成績通知を平成 22 年度から実施決定
- ・ 「授業支援システム」及び「学生カルテシステム」の導入・運用決定【再掲】
- ・ 授業料免除枠の拡大、風水害等特別の事情による場合の授業料免除の実施

【高大連携事業の強化】

- ・ オープンキャンパスの開催 (参加者 2,573 名の自由な参加に配慮し、キャンパスツアー、学部説明会等のプログラムを盛り込んだ冊子を作成)
- ・ ウィンターセッションの開催 (受講者 216 名、各プログラムに感想発表会を取り入れ参加者の自由な参加に配慮)
- ・ 大学見学 (県内外 29 校から 1,858 人、111 名の教員が来学)
- ・ スーパーサイエンスハイスクール (S S H) (水沢高等学校 1 学年、県大 140 名、岩大 140 名)
- ・ AO 入試合格者に対する入学前教育の実施

④ 不況期にあっても高い就職率を維持します

キャリア形成意識の醸成、効率的・効果的な就職活動環境の提供、就職先の開拓と相互理解の促進、県内定着の推進により、不況期にあっても高い就職率の維持に取り組みました。

【キャリア形成意識の醸成】

- ・ ソフトウェア情報学部において、引き続き地元商店街への経営分析システムの提案を行うなどキャリア意識の形成を積極的に推進
- ・ 総合政策学部において、キャリア教育関連科目である「地場産業・企業研究」を自由科目から選択科目に移行【再掲】
- ・ 盛岡短期大学部において、全国公立短期大学協会加盟校及び県内の短大にインターンシップ取組状況に関するアンケート調査の実施、インターンシップガイダンス及びインターンシップへの積極的な参加
- ・ 宮古短期大学部において、「基礎研究」にキャリア教育を位置づけ (学生が将来の進路を見据えた「特別研究」の選択が可能)

【効率的・効果的な就職活動環境の提供】

- ・ 本学卒業生の就職先企業 859 社に対して、求める人材の能力水準、採用意識、採用理由、本学卒業生の能力などについてアンケート実施
- ・ 卒業年次生を対象に在学中の満足度を中心としたアンケートを実施、学内公開【再掲】
- ・ 「就職相談カード」のデータを「学生カルテシステム」に活用することによる学部教員との情報共有
- ・ 就職支援ガイダンスを 11 回開催
- ・ ジョブカフェいわて等との共催による「就活スタートアップセミナー」の開催
- ・ 看護学部においては、岩手県内の看護の職場環境に関する調査を「中堅看護師のキャリアアップに関するニーズ調査報告書」としてとりまとめ
- ・ 社会福祉学部においては、実習指導者を対象とした実習教育研修会の開催

【就職先の開拓と相互理解の促進】

- ・ 就職支援を担当する特命課長の 1 名配置
- ・ ソフトウェア情報学部において、第 5 回いわて情報産業シンポジウム、首都圏企業就職フォーラム、仙台企業就職フォーラムの開催
- ・ 宮古短期大学においては、就職支援専門員、教員、事務局職員が分担して、採用実績のある企業や県の誘致企業を中心に企業訪問を実施

【県内定着の推進】

- ・ 授業料免除枠の拡大、風水害等特別の事情による場合の授業料免除の実施【再掲】
- ・ ふるさと岩手定住財団主催の「岩手県 U・I ターンフェア」に参加した卒業生の U ターン支援
- ・ 「黄金の國いわてフェア」に出展し、本学の教育目標や育成する人材像を関東圏で広報

⑤ 教育研究活動推進力の抜本的な強化に取り組みます

大学運営業務の最適化、教育研究活動の実施体制の整備、教育研究活動を推進するモチベーションの向上により、教育研究活動推進力の抜本的な強化に取り組みました。

【大学運営業務の最適化】

- ・ 経営会議は学外委員を2名増員し外部意見の反映を強化
- ・ 次期中期目標・中期計画の策定及び円滑な推進体制確立のため、3本部を4本部に改組し、それに合わせ、事務局組織も再編
- ・ 事務局体制の整備による学部等の業務運営機能の向上
- ・ 中期目標期間の4年経過時における業務実績評価（暫定的な評価）では、中期目標の各評価項目について、認証評価結果や経営評価指標の経年比較等を踏まえて、客観的に達成度を総括し、成果と課題を明確に抽出

【教育研究活動の実施体制の整備】

- ・ リサーチアシスタント制度の対象事業を拡大（社会福祉学部1名配置）
- ・ 科学研究費補助金など国等の公募研究資金に関する説明会の開催、学内ホームページ等による最新の公募情報の提供、申請書のブラッシュアップ支援
- ・ 教育・研究等にかかる政策的な予算について、学長が編成する方式の導入
- ・ 外部専門機関に委託し「心の健康診断」の実施

【教育研究活動を推進するモチベーションの向上】

- ・ 大学の方針である平成21年度の重点事項を全学的に明確化し、各部局の運営方針に反映することにより、重点的、一体的な取組の推進
- ・ 各部局と大学執行部との打ち合わせを実施（4月、10月）
- ・ 「人事制度改革本部」を廃止し、本学にとってより良い教員評価の構築のための全学的な検討組織として、学長を委員長とした「教員評価検討委員会」を設置
- ・ 中期目標期間の業務実績評価（暫定的な評価）において、認証評価結果や大学経営評価指標の経年比較等、客観的・定量的な評価により実施

（2）全体評価に規定する事項

① 理事長及び学長のリーダーシップによる機動的・戦略的な大学運営を目指した取組み

【運営方針等】

- ・ 学長が示す大学の重点事項に基づき、各部局が運営方針を作成、全学で共有
- ・ 各部局と大学執行部との打ち合わせの実施による進捗状況の把握、平成22年度計画策定に向けた調整

【次期中期計画策定への取組】

- ・ 業務実績評価（暫定的な評価）を実施し、結果をふまえた、骨子の作成

【大学の運営体制等の見直し】

- ・ 経営会議の学外委員の増員、ホームページ改善やアンケート調査等による、大学運営への学外・学生の意見の反映の強化
- ・ 次期中期目標・中期計画の策定及び円滑な推進体制確立のため、3本部を4本部に改組し、それに合わせ、事務局組織も再編
- ・ 教員評価検討委員会、入学者選抜試験検討委員会において、学長を委員長とし、大学執行部の意向を反映する体制を構築

【予算等への反映】

- ・ 大学の全体予算の中で教育・研究等にかかる政策的な予算について、学長が編成する方式の導入

② 県民や社会に対する説明責任を重視した社会に開かれた大学運営を目指した取組み

【広聴広報】

- ・ 様々な広報媒体により、教育目標や育成する人材像を発信（Web版IPU・大学年報、新たな取組として大学案内やパネルの作成、県外フェアでの情報発信）
- ・ 卒業年次生を対象に、在学中の満足度を中心としたアンケート調査を実施、学内公開

【自己点検・評価】

- ・ 中期目標期間の業務実績評価（暫定的な評価）において、認証評価結果や大学経営評価指標の経年比較等、客観的・定量的な評価を実施

【研究成果の発表等】

- ・ 「IPU地域づくりプラザ」のホームページ開設
- ・ 盛岡市まちづくり研究所の成果報告会を盛岡市とともに開催
- ・ 2009地域づくり・地域貢献活動セミナー&発表会の開催
- ・ 一般県民を対象とした岩手県立大学研究成果発表会の開催
- ・ 県立大学生による学生活動発表会「アイーナにコイーナ」の開催

【高大連携】

- ・ 高校側からのアンケートを踏まえ出前講義のメニュー化、ニーズにマッチした講義の開催、特命課長を配置し、きめこまやかな高校訪問
- ・ 大学説明会、オープンキャンパス、ウィンターセッション、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）、出前講義等の実施

③ 大学の教育研究、地域貢献等における特色ある取組み、創意工夫

【全学的取組み】

- ・ 単位互換制度として「地域人材育成講座（いわて学）」の開講決定（平成 22 年度～）
- ・ メディアセンターの活用のため、各種講習会、センター長と学生の意見交換会の実施
- ・ 学生の就学継続支援及び IT の活用による教育支援として、「授業支援システム」及び「学生カルテシステム」の導入・運用決定
- ・ 地域課題への積極的な対応として、東北組込み産業クラスタに参画、IPU 地域づくりプラザ等を通じた自治体、地域社会との交流とニーズ把握
- ・ 地域貢献活動として、研究成果の発表等（「IPU 地域づくりプラザ」のホームページ開設、2009 地域づくり・地域貢献活動セミナー&発表会の開催、岩手県立大学研究成果発表会）
- ・ 県大と岩手県、産業界で提案した地域産学官共同研究拠点事業が J S T に採択
- ・ 授業料免除枠の拡大、風水害等特別の事情による場合の授業料免除の実施

【看護学部】

- ・ 研究科において、北東北がんプロフェッショナル養成プロジェクトを通じて、若手研究者養成についての大学間の意見交換
- ・ 研究科において、「がん看護専門看護師教育課程」が認可（3つの専門看護師教育課程を認定することが可能）
- ・ 学部教員による入試問題や面接・評価についての学習会の開催
- ・ 第 2 回岩手看護学会の開催

【社会福祉学部】

- ・ 地域に密着した実践教育、専門家の育成及び地域貢献として、西和賀での「丸ごと地域で学ぶ」機会の設定、西和賀町、釜石市、盛岡市と共同で介護実態を把握するプロジェクトの立ち上げ、岩泉町、岩手県社会福祉協議会、盛岡市福祉事務所などの多様な共同研究の実施
- ・ 山口県立大学社会福祉学部との教員・学生の交流

【ソフトウェア情報学部】

- ・ 入試分析結果の作題等への反映、推薦入試制度の変更へ向けた県内高校への意見聴取
- ・ 第 5 回いわて情報産業シンポジウム、首都圏企業就職フォーラム、仙台企業就職フォーラムの開催
- ・ 学年縦断型演習（プロジェクト演習）について、評価の高いプロジェクトの公開、ソフトウェア演習について、統一テキスト・課題の作成

【総合政策学部】

- ・ キャリア教育関連科目として「地場産業・企業研究」の卒業要件への算入
- ・ 地域課題に対応した実証的な調査研究に基づく政策提言活動等への学部としての支援

【盛岡短期大学部】

- ・ 編入学支援のため、英語講座を外部専門講師に委嘱して実施
- ・ JICA 派遣講師によるワークショップや実践体験の実施

【宮古短期大学部】

- ・ 1 年次からの「入門ゼミ」、「基礎研究」を通じたキャリア教育、全教員によるオフィスアワーの実施
- ・ 学校見学、キャンパス見学会への柔軟な対応、推薦入試合格者への入学前教育の試行
- ・ 財団法人さんりく基金の自主事業に係る調査研究の実施、NPO 等と連携した SNS（ソーシャル・ネットワーキング・システム）の構築

④ 大学改革を推進させる取組み

【大学の運営体制等の見直し(再掲)】

- ・ 次期中期目標・中期計画の策定及び円滑な推進体制確立のため、3 本部を 4 本部に改組し、それに合わせ、事務局組織も本部及び学部の支援を強化した体制を構築

【次期中期計画策定への取組(再掲)】

- ・ 業務実績評価（暫定的な評価）を実施し、結果をふまえた、骨子の作成

【教員による FD 活動】

- ・ 新任教員研修会、全学 FD 研修会、教員間相互授業聴講の実施、学部 FD 経費の新設

【イノベーションセンター】

- ・ 滝沢村が「滝沢村 I P U イノベーションセンター」を開設（平成 21 年 5 月、これまで 6 企業が 8 室に入居済み）

【自己点検・評価（再掲）】

- ・ 中期目標期間の業務実績評価（暫定的な評価）において、認証評価結果や大学経営評価指標の経年比較等、客観的・定量的な評価により実施

⑤ 業務運営等の改善及び財務状況の改善に関する取組み

【外部からの研究資金の導入】

- ・ 科学研究費補助金などの公募研究資金に関する説明会の開催、新たに申請書の形式要件修正マニュアルを作成してブラッシュアップ支援（継続を含めた平成 22 年度採択率 46.8%）

【大学の運営体制等の見直し(再掲)】

- ・ 次期中期目標・中期計画の策定及び円滑な推進体制確立のため、3 本部を 4 本部に改組し、それに合わせ、事務局組織も再編

【業務の効率化・経費節減】

- ・ 旅費業務のアウトソーシングと旅費システムの操作マニュアルの作成、施設管理業務やコピー機リースの複数年契約

⑥ 自己点検・評価及び情報公開に関する取組み

【自己点検・評価（再掲）】

- ・ 中期目標期間の業務実績評価（暫定的な評価）において、認証評価結果や大学経営評価指標の経年比較等、客観的・定量的な評価により実施

- ・ 大学経営評価指標の構築のため、卒業生の就職先企業へアンケート調査を実施、学内へ周知するとともに中期目標期間の業務実績評価（暫定的な評価）の評価基準として活用

【広聴広報（再掲）】

- ・ 様々な広報媒体により、教育目標や育成する人材像を発信(Web版 IPU・大学年報、新たな取組として大学案内やパネルの作成、県外フェアでの情報発信)
- ・ 卒業年次生を対象に在学中の満足度を中心としたアンケート調査を実施、学内公開

⑦ その他

【学生生活の支援】

- ・ 宮古短期大学部へのエレベーター設置
- ・ 食堂及び売店の充実のため、大学生協の立ち上げ
- ・ 新入生向け授業において薬物乱用防止、防犯対策、悪質商法等に関する講習会開催、不審者情報の注意喚起を実施
新型インフルエンザ対策では、学長を本部長とした新型インフルエンザ対策本部を立ち上げ、情報収集・提供、感染拡大防止等へ対応

【メンタルヘルス】

- ・ 「心の健康診断」について外部専門機関に委託実施、療養中の職員に対し健康審査会を開催

(3) 全体的な計画の進行状況

岩手県立大学は、平成 21 事業年度においては、年度計画として提示した各般にわたる活動を展開した結果、153 項目中 131 項目（85.6%、前年度 90.5%）において計画を着実に遂行したほか、平成 22 年度においての具体的な実施を見込む取組みも含めて、152 項目（99.3%、前年度 95.7%）は概ね順調に実行し、一定の成果を達成することができました。

一方、1 項目（0.7%、前年度 4.3%）については、新たな課題の認識などもあって十分な実行に至りませんでしたが、平成 22 年度以降改めて実施計画を検討のうえ取り組みます。

3 項目別の状況

区分	自己評価		主なA評価項目 (項目別の特記事項)	摘要 (主な運営データ等)																																																																																																				
	区分	項目数		割合%	区分																																																																																																			
I 大学の教育・研究などの質の向上に関する目標を達成するためにとる措置	A	112	88.2	<p>◎全学的な取り組み</p> <p>① いわて5大学単位互換制度の充実 国公立大学間の積極的な連携を推進する「戦略的大学連携支援事業」に基づき、新たな単位互換制度として「地域人材育成講座（いわて学）」を本学が主務校となって検討し、平成22年度から開講することとしました。</p> <p>② メディアセンターの学術機能の充実 各種講習会の実施（全学向け講習会4回、各学部向け講習会12回、新入生オリエンテーション）による図書館の利活用方法の周知を行いました。 学内で発行される研究論文等については収集を継続するとともに、昨年度収集した研究紀要については、CiNii（国立情報学研究所論文情報ナビゲータ）により、平成22年10月末を目処に電子公開します。 また、メディアセンターの運営や図書整備の在り方に学生の意見を反映させるため、メディアセンター長と学生との意見交換会を6月に実施し、図書館利用・資料・施設環境について意見交換を行ったほか、「図書館の本、選んでみませんか」と称して、学生から図書のリクエストを募集し、新着図書コーナーにて紹介する取り組みを行いました。 さらに、学習支援の一環として、教員による学生への推薦図書を図書館だよりや企画スペースにて紹介する取り組みを実施しました。</p> <p>③ ITの活用による教育支援 「教務・FD推進専門委員会」及び「学生支援専門委員会」において検討したうえで、「授業支援システム」及び「学生カルテシステム」を導入することとしました。</p> <p>④ 就学困難な学生への支援 平成21年度より授業料免除枠を拡大したほか、風水害による被害や家計支持者の死亡等による特別の事情による場合についても授業料免除を実施し、経済支援を行いました。 奨学金については、有効に活用するため、学生、教員に周知するほか、高等学校への周知を行いました。</p> <p>⑤ 研究成果の普及還元 研究成果等の還元等についての主な実績は次のとおりです。 ○「IPU地域づくりプラザ」のホームページ開設 ・地域貢献、地域づくりに関する調査研究活動の研究成果を目に見える形で還元するため、「IPU地域づくりプラザ」のホームページを開設（平成21年10月） ・HP上で、地域づくり研究所、公共政策研究所、盛岡市まちづくり研究所に係る随時の調査研究活動を掲載するほか、IPUの地域貢献活動、地域づくり活動の結果について、随時、情報提供 ○成果発表会の開催 ・盛岡市まちづくり研究所の平成20年度における成果報告会を盛岡市とともに開催（平成21年4月27日） ・平成20年度研究成果報告の発行について支援 ○「2009地域づくり・地域貢献活動セミナー&発表会」の開催 ・地域づくり研究所では、学生ボランティアセンター、地域貢献研究会との共催により、「ワークショップを通じた地域づくりのデザイン」を開催（平成21年10月16日）</p>	<p>○入試の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">県立大学</td> <td rowspan="3">学部</td> <td>入学者数</td> <td>450</td> <td>452</td> </tr> <tr> <td>志願者数</td> <td>2,593</td> <td>3,034</td> </tr> <tr> <td>志願倍率</td> <td>5.9</td> <td>6.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">大学院</td> <td>入学者数</td> <td>61</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>志願者数</td> <td>86</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>志願倍率</td> <td>0.8</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">盛岡短期大学部</td> <td>入学者数</td> <td>105</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>志願者数</td> <td>339</td> <td>264</td> </tr> <tr> <td>志願倍率</td> <td>3.4</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>受験者数</td> <td>299</td> <td>235</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">宮古短期大学部</td> <td>入学者数</td> <td>107</td> <td>107</td> </tr> <tr> <td>志願者数</td> <td>173</td> <td>213</td> </tr> <tr> <td>志願倍率</td> <td>1.7</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>受験者数</td> <td>165</td> <td>207</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="3">(H21.5.1 運営データ、人・%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○「本学が第一希望」の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">県大</td> <td>第一希望</td> <td>81.6</td> <td>81.1</td> </tr> <tr> <td>第二希望</td> <td>10.4</td> <td>12.7</td> </tr> <tr> <td>第三希望以下</td> <td>8.0</td> <td>6.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">盛短</td> <td>第一希望</td> <td>58.8</td> <td>63.5</td> </tr> <tr> <td>第二希望</td> <td>30.4</td> <td>21.1</td> </tr> <tr> <td>第三希望以下</td> <td>10.8</td> <td>15.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">宮短</td> <td>第一希望</td> <td>69.5</td> <td>75.0</td> </tr> <tr> <td>第二希望</td> <td>18.6</td> <td>15.0</td> </tr> <tr> <td>第三希望以下</td> <td>11.9</td> <td>10.0</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="3">(新入生アンケート、%)</td> </tr> </tbody> </table>			区分		H20	H21	県立大学	学部	入学者数	450	452	志願者数	2,593	3,034	志願倍率	5.9	6.9	大学院	入学者数	61	71	志願者数	86	95	志願倍率	0.8	0.9	盛岡短期大学部	入学者数	105	101	志願者数	339	264	志願倍率	3.4	2.6	受験者数	299	235	宮古短期大学部	入学者数	107	107	志願者数	173	213	志願倍率	1.7	2.1	受験者数	165	207				(H21.5.1 運営データ、人・%)			区分		H20	H21	県大	第一希望	81.6	81.1	第二希望	10.4	12.7	第三希望以下	8.0	6.2	盛短	第一希望	58.8	63.5	第二希望	30.4	21.1	第三希望以下	10.8	15.4	宮短	第一希望	69.5	75.0	第二希望	18.6	15.0	第三希望以下	11.9	10.0				(新入生アンケート、%)		
	区分		H20		H21																																																																																																			
	県立大学	学部	入学者数		450	452																																																																																																		
			志願者数		2,593	3,034																																																																																																		
			志願倍率		5.9	6.9																																																																																																		
大学院		入学者数	61	71																																																																																																				
		志願者数	86	95																																																																																																				
		志願倍率	0.8	0.9																																																																																																				
盛岡短期大学部	入学者数	105	101																																																																																																					
	志願者数	339	264																																																																																																					
	志願倍率	3.4	2.6																																																																																																					
	受験者数	299	235																																																																																																					
宮古短期大学部	入学者数	107	107																																																																																																					
	志願者数	173	213																																																																																																					
	志願倍率	1.7	2.1																																																																																																					
	受験者数	165	207																																																																																																					
			(H21.5.1 運営データ、人・%)																																																																																																					
区分		H20	H21																																																																																																					
県大	第一希望	81.6	81.1																																																																																																					
	第二希望	10.4	12.7																																																																																																					
	第三希望以下	8.0	6.2																																																																																																					
盛短	第一希望	58.8	63.5																																																																																																					
	第二希望	30.4	21.1																																																																																																					
	第三希望以下	10.8	15.4																																																																																																					
宮短	第一希望	69.5	75.0																																																																																																					
	第二希望	18.6	15.0																																																																																																					
	第三希望以下	11.9	10.0																																																																																																					
			(新入生アンケート、%)																																																																																																					
B	14	11.0																																																																																																						
C	1	0.8																																																																																																						
D	0	0.0																																																																																																						
計	127	100.0																																																																																																						

区 分	自己評価		主なA評価項目 (項目別の特記事項)	摘 要 (主な運営データ等)																																																																																																												
	区分	項目数		割合%																																																																																																												
			<p>・学生と地域、大学と県内自治体、大学と地域コミュニティのそれぞれ7課題について、成果発表とパネル展示</p> <p>○地域づくり大学かねがさき校の成果発表(公共政策研究所)</p> <p>・公共政策研究所では、総合政策研究科公共政策コースとともに、平成21年10月17日～18日に金ヶ崎町で開催した「生涯教育の町宣言 30周年記念大会」において、地域づくり大学での取組を实践発表、ポスター展示</p> <p>○一般県民を対象とした研究成果発表会の開催</p> <p>・身心の健康づくりや福祉をテーマに4つの研究成果を発表し、延べ約200名が参加</p> <p>○学術研究費の新規採択</p> <p>・地域課題に対応した研究については、地域課題研究は1件、地域貢献調査活動研究は10件、連携研究は4件、先端・独創的研究は2件、海外等調査研究は1件採択</p> <p>○県立大学生による学生活動発表会「アイーナにコイーナ」開催</p> <p>⑥ 学際的・横断的研究の仕組み検討</p> <p>学際的、学部横断的な研究プロジェクトとして、「地域専門職への遠隔教育システムの構築と実践的研究」を継続実施しているほか、「がん患者の療養生活とQOL支援ならびにがん患者の充実・均てん化を目指した研究」において一定の成果が得られ、報告書として取りまとめられました。</p> <p>また、本学と岩手県、産業界で提案した地域産学官共同研究拠点事業「岩手県ものづくりソフトウェア融合テクノロジーセンター(仮称)」がJSTに採択されました。同事業は、JSTが研究設備を本学の地域連携研究センターに整備し、これを本学及び地域の産業界等が活用し、自動車システム関連研究や情報技術の活用研究などをテーマとした学際的、学部横断的な産学官共同研究や組み込みソフトウェア技術者の高度技術者教育を行うものです。平成22年度に研究設備が整備され、平成23年度からの事業の本格実施に向けて、体制づくり等を進めています。</p> <p>⑦ 研究倫理の向上</p> <p>平成21年1月に設置された研究倫理審査委員会は原則として月一回開催し、4月から3月までに35件の審査を行いました。</p> <p>研究活動上の不正行為防止のために、平成21年3月に策定した不正防止計画に基づき、1)旅費や謝金の支出に伴う手続および書類作成、2)物品購入時の検収方法について明確にし、学内情報システムやホームページ等を通じて周知するとともに適正な執行を促しました。</p> <p>◎各学部等における特色ある取り組み 【看護学部、研究科】</p> <p>① 入試問題、面接、評価方法の検討</p> <p>学習会は面接担当者となる看護学部の教員を対象に、講義および意見交換を行いました。</p> <p>講義の内容は大学入試面接の現状、面接で特に注意すべき点と工夫、評価ポイントなどで、対象となる教員のほとんどが参加し(20名ほど)、活発な討議が行われました。今後、学部として統一した面接質問項目、面接の採点方法や採点基準について検討していくことが確認されました。さらに、「総合問題」を廃し、新たな配点方法を検討しており、AO入試についても、今後見直しの方向で検討しています。</p> <p>② がん看護専門看護師教育課程の認可</p> <p>「がん看護専門看護師教育課程」が認可され、本研究科としては3つの専門看護師教育課程を認定することができました。</p>	<p>○学生定員充足状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">県立 大学</td> <td>学部</td> <td>定員 1,840</td> <td>1,840</td> </tr> <tr> <td></td> <td>在籍数 1,953</td> <td>1,969</td> </tr> <tr> <td></td> <td>充足率 106.1</td> <td>107.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">盛岡 短期 大学部</td> <td>大学院</td> <td>定員 239</td> <td>239</td> </tr> <tr> <td></td> <td>在籍数 172</td> <td>187</td> </tr> <tr> <td></td> <td>充足率 72.0</td> <td>78.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">盛岡 短期 大学部</td> <td>盛岡短期大学部</td> <td>定員 200</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td></td> <td>在籍数 216</td> <td>215</td> </tr> <tr> <td></td> <td>充足率 108.0</td> <td>107.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">宮古 短期 大学部</td> <td>宮古短期大学部</td> <td>定員 200</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td></td> <td>在籍数 215</td> <td>214</td> </tr> <tr> <td></td> <td>充足率 107.5</td> <td>107.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(H21.5.1 運営データ、人・%)</p> <p>○就職の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">県立 大学</td> <td>県内就職者数</td> <td>141</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>40.4</td> <td>40.7</td> </tr> <tr> <td>県外就職者数</td> <td>208</td> <td>211</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>59.6</td> <td>59.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計(就職者数)</td> <td>計(就職者数)</td> <td>349</td> <td>356</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>96.9</td> <td>94.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">盛岡 短期 大部</td> <td>県内就職者数</td> <td>36</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>61.0</td> <td>71.2</td> </tr> <tr> <td>県外就職者数</td> <td>23</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>39.0</td> <td>28.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計(就職者数)</td> <td>計(就職者数)</td> <td>59</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>92.2</td> <td>85.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">宮古 短期 大部</td> <td>県内就職者数</td> <td>44</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>65.7</td> <td>67.7</td> </tr> <tr> <td>県外就職者数</td> <td>23</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>34.3</td> <td>32.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計(就職者数)</td> <td>計(就職者数)</td> <td>67</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>90.5</td> <td>82.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(各年度3月末現在運営データ、人・%)</p>	区分		H20	H21	県立 大学	学部	定員 1,840	1,840		在籍数 1,953	1,969		充足率 106.1	107.0	盛岡 短期 大学部	大学院	定員 239	239		在籍数 172	187		充足率 72.0	78.2	盛岡 短期 大学部	盛岡短期大学部	定員 200	200		在籍数 216	215		充足率 108.0	107.5	宮古 短期 大学部	宮古短期大学部	定員 200	200		在籍数 215	214		充足率 107.5	107.0	区分		H20	H21	県立 大学	県内就職者数	141	145	割合	40.4	40.7	県外就職者数	208	211	割合	59.6	59.3	計(就職者数)	計(就職者数)	349	356	割合	96.9	94.2	盛岡 短期 大部	県内就職者数	36	42	割合	61.0	71.2	県外就職者数	23	17	割合	39.0	28.8	計(就職者数)	計(就職者数)	59	59	割合	92.2	85.5	宮古 短期 大部	県内就職者数	44	44	割合	65.7	67.7	県外就職者数	23	21	割合	34.3	32.3	計(就職者数)	計(就職者数)	67	65	割合	90.5	82.3
区分		H20	H21																																																																																																													
県立 大学	学部	定員 1,840	1,840																																																																																																													
		在籍数 1,953	1,969																																																																																																													
		充足率 106.1	107.0																																																																																																													
盛岡 短期 大学部	大学院	定員 239	239																																																																																																													
		在籍数 172	187																																																																																																													
		充足率 72.0	78.2																																																																																																													
盛岡 短期 大学部	盛岡短期大学部	定員 200	200																																																																																																													
		在籍数 216	215																																																																																																													
		充足率 108.0	107.5																																																																																																													
宮古 短期 大学部	宮古短期大学部	定員 200	200																																																																																																													
		在籍数 215	214																																																																																																													
		充足率 107.5	107.0																																																																																																													
区分		H20	H21																																																																																																													
県立 大学	県内就職者数	141	145																																																																																																													
	割合	40.4	40.7																																																																																																													
	県外就職者数	208	211																																																																																																													
	割合	59.6	59.3																																																																																																													
計(就職者数)	計(就職者数)	349	356																																																																																																													
	割合	96.9	94.2																																																																																																													
盛岡 短期 大部	県内就職者数	36	42																																																																																																													
	割合	61.0	71.2																																																																																																													
	県外就職者数	23	17																																																																																																													
	割合	39.0	28.8																																																																																																													
計(就職者数)	計(就職者数)	59	59																																																																																																													
	割合	92.2	85.5																																																																																																													
宮古 短期 大部	県内就職者数	44	44																																																																																																													
	割合	65.7	67.7																																																																																																													
	県外就職者数	23	21																																																																																																													
	割合	34.3	32.3																																																																																																													
計(就職者数)	計(就職者数)	67	65																																																																																																													
	割合	90.5	82.3																																																																																																													

区 分	自己評価		主なA評価項目 (項目別の特記事項)	摘 要 (主な運営データ等)																																											
	区分	項目数		割合%																																											
			<p>【社会福祉学部、研究科】</p> <p>① 専門能力を高める学習の推進 西和賀地域での介護福祉士、社会福祉士の実習のほか、コミュニティ大学ワークショップとその企画、「地域まるごと養護事業」、「いのちの学習塾」、本学ボランティアセンターが企画した「Do Nabe Net」への参加を通して地域、NPO、福祉関係者等との交流が深まり、多様な学びの場を展開することができました。これらへの学生の参加は延べ180人になっています。また、学部内に「西和賀プロジェクト」を立ち上げ、大学祭において「西和賀映画会、シンポジウム」を開催しました。参加者は200人に上りました。</p> <p>【ソフトウェア情報学部、研究科】</p> <p>① 推薦入学の入試制度の見直し 分析結果を平成22年度推薦入試において作題等に反映させました。また、今後の推薦入試制度の変更案をまとめるために、県内高校から意見聴取を行いました。 平成17年度入試から全国推薦を導入し、平成21年度入試以降は、県内外の高校を対象とした推薦入試を実施し、全国から学生を募ることとし、平成21年度入試の分析結果を、平成22年度入試の推薦入学実施に反映させる等、他県からも優れた人間を受け入れるための推薦入試を実施する仕組みを整えました。</p> <p>② 大学・企業・地域の交流の推進 第5回いわて情報産業シンポジウム(11月4日開催)を開催し、県内の情報産業及び製造業の企業が参加し、シンポジウムや交流会において活発な意見交換が行われました。 首都圏企業就職フォーラム(12月2日開催)、仙台企業就職フォーラム(1月13日開催)を開催し、それぞれ情報産業、製造業等の参加がありました。特に仙台企業就職フォーラムにおいては、開催地を仙台から盛岡(アイーナ)に変更したことにより、学生の参加数が昨年度から大幅に増加しました。 これらの取り組みにより、地域毎に企業と大学との活発な交流を実現できました。 各地の企業との交流のチャネルを維持するために、いわて情報産業シンポジウム、首都圏企業就職フォーラム、仙台企業就職フォーラム等の枠組みを構築しました。地域社会のニーズと学部のシーズの交流・協調を推進する仕組みが整ったことから、中期計画を達成しました。</p> <p>【総合政策学部、研究科】</p> <p>① 実学実践の推進 カリキュラム改訂により、平成21年度から「地場産業・企業研究」を選択科目と位置づけるとともに展開科目と抱き合わせで卒業要件としました。</p> <p>【盛岡短期大学部】</p> <p>① インターンシップへの支援 全国公立短期大学協会加盟校および県内の短大にインターンシップ取組状況に関するアンケート調査を実施し情報収集を行いました。インターンシップガイダンスにもほとんどの学生(76名)が参加し、その内46名の学生がインターンシップに参加しました。その結果、学生の就業体験の重要性の認識と意識向上につながりました。また、結果の一部をインターンシップ特集として、在学生とその保護者向けの盛岡短期大学部広報誌「女神通信」で報告しています。</p>	<p>○産学官連携の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同研究数</td> <td>66</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>受託研究数</td> <td>23</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>89</td> <td>78</td> </tr> </tbody> </table> <p>(運営データ、件)</p> <p>○地域貢献の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">公開講座</td> <td>開講講座数</td> <td>51</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>受講者数</td> <td>3,409</td> <td>3,072</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">施設の学外利用者</td> <td>図書館</td> <td>7,709</td> <td>7,963</td> </tr> <tr> <td>体育施設等</td> <td>31,382</td> <td>20,588</td> </tr> <tr> <td>アイーナキャンパス</td> <td>16,977</td> <td>19,344</td> </tr> <tr> <td>審議会委員等への就任、講師派遣数</td> <td>994</td> <td>831</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">うち</td> <td>行政機関</td> <td>563</td> <td>355</td> </tr> <tr> <td>非常勤講師</td> <td>133</td> <td>124</td> </tr> </tbody> </table> <p>(運営データ、講座・人)</p>	区分	H20	H21	共同研究数	66	56	受託研究数	23	22	合 計	89	78	区分		H20	H21	公開講座	開講講座数	51	53	受講者数	3,409	3,072	施設の学外利用者	図書館	7,709	7,963	体育施設等	31,382	20,588	アイーナキャンパス	16,977	19,344	審議会委員等への就任、講師派遣数	994	831	うち	行政機関	563	355	非常勤講師	133	124
区分	H20	H21																																													
共同研究数	66	56																																													
受託研究数	23	22																																													
合 計	89	78																																													
区分		H20	H21																																												
公開講座	開講講座数	51	53																																												
	受講者数	3,409	3,072																																												
施設の学外利用者	図書館	7,709	7,963																																												
	体育施設等	31,382	20,588																																												
	アイーナキャンパス	16,977	19,344																																												
審議会委員等への就任、講師派遣数	994	831																																													
うち	行政機関	563	355																																												
	非常勤講師	133	124																																												

区 分	自己評価			主なA評価項目 (項目別の特記事項)	摘 要 (主な運営データ等)																		
	区分	項目数	割合%																				
				<p>【宮古短期大学部】</p> <p>① キャリア教育の導入 入門ゼミ、基礎研究を通して、1)就職相談室及び就職支援専門員によるガイダンス、2)就職活動冊子の利用、3)自己分析・企業分析や自分たちの置かれている立場の説明、4)キャリア教育に関連するテーマ等を利用した職業意識の向上等に取り組み、1年前期の時点から進路についての状況や今後の取り組みを認識させることを主眼としたキャリア教育を行いました。 また、情報系の教育では、基礎研究においても情報リテラシー教育を行うとともに、パソコン検定協会の「P検」を本学で実施する体制を整えました。</p> <p>② 高等学校との連携の強化 学校見学については、希望のあったケースについては、すべて受け入れ対応しました。受け入れ実績は、生徒5名、保護者等3名、教員1名の計9名でした。このうち、生徒4名、保護者3名の計7名は、土日の見学に対しての対応でした。 また、「キャンパス見学会」については、当日に来られなかった高校生などのために、昨年度から試験的に8月最終日曜日に、「キャンパス見学会」の規模をやや小さくした「学校説明会」を新たに開催しています。参加者が保護者等を含めて昨年度31名、今年度32名となっており、来年度からは正式な行事として、学年暦に組み入れることとしました。 さらに、高大連携の取組みの一つとして、「推薦入試合格者」の入学前教育を試行実施しました。</p>																			
II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	A	5	55.6	<p>① 次期中期目標・次期中期計画策定への取組み 中期目標期間の4年経過時における業務実績評価（暫定的な評価）では、中期目標の各評価項目について、認証評価結果や経営評価指標の経年比較等をふまえて、客観的に達成度を総括し、成果と課題を明確に抽出することができました。 これら暫定評価結果をふまえ、次期中期目標・中期計画において、地域中核人材の育成と地域の活力創出を目指すための基本的な取組内容（骨子）をとりまとめました。 また、次期中期計画の策定のため、基本的な取組内容（骨子）をブレイクダウンさせ、全学的議論に着手するための準備を進めました。</p>																			
	B	4	44.4																				
	C	0	0.0																				
	D	0	0.0																				
	計	9	100.0																				
III 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	A	1	100.0		<p>○外部研究資金の獲得状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">外部研究資金受入</td> <td>件数</td> <td>116</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>143,141</td> <td>115,770</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">うち 科 研 費</td> <td>件数</td> <td>65</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>79,644</td> <td>67,803</td> </tr> </tbody> </table> <p>(運営データ、件・千円)</p>	区分		H20	H21	外部研究資金受入	件数	116	96	金額	143,141	115,770	うち 科 研 費	件数	65	60	金額	79,644	67,803
	区分		H20			H21																	
	外部研究資金受入	件数	116			96																	
		金額	143,141			115,770																	
	うち 科 研 費	件数	65			60																	
金額		79,644	67,803																				
B	0	0.0																					
C	0	0.0																					
D	0	0.0																					
計	1	100.0																					

区 分	自己評価			主なA評価項目 (項目別の特記事項)	摘 要 (主な運営データ等)
	区分	項目数	割合%		
IV 自己点検・評価・改善及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとる措置	A	5	83.3	① 大学経営評価のための指標化・データ化等 大学経営評価指標の構築のため、本学卒業生の就職先企業 859 社に対して、求める人材の能力水準、採用意識、採用理由、本学卒業生の能力などについてアンケート調査を行いました。 調査結果は報告書にとりまとめ、学内会議、掲示板、HP で周知を図るとともに、中期目標期間の業務実績評価（暫定的な評価）の評価基準として活用し、前回調査との経年比較により定量的・客観的評価を実施しました。	
	B	1	16.7		
	C	0	0.0		
	D	0	0.0		
	計	6	100.0		
V 施設設備の整備、安全管理等の目標を達成するためにとる措置	A	5	83.3		
	B	1	16.7		
	C	0	0.0		
	D	0	0.0		
	計	6	100.0		
VI 予算、収支計画及び資金計画 VII 短期借入金の限度額 VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 IX 剰余金の使途 X 岩手県地方独立行政法人法施行細則で定める業務運営に関する事項	A	3	75.0		
	B	1	25.0		
	C	0	0.0		
	D	0	0.0		
	計	4	100.0		
合 計	A	131	85.6		
	B	21	13.7		
	C	1	0.7		
	D	0	0.0		
	計	153	100.0		